

【復興支援道路】

一般国道 340 号立丸峠工区の工事が進んでいます！

～ つなごう！復興のために 進もう！復興のその先へ ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

1 (仮称)小峠トンネル築造工事の現場見学会を開催

県が「復興支援道路」として遠野市恩徳～宮古市小国間で整備を進めている一般国道 340 号立丸峠工区については、平成 26 年 8 月 12 日に着工式を開催し、現在、(仮称)小峠トンネル(L=920m)の掘削工事を進めているところです(H26.12.25 時点で約 390m まで掘削)。

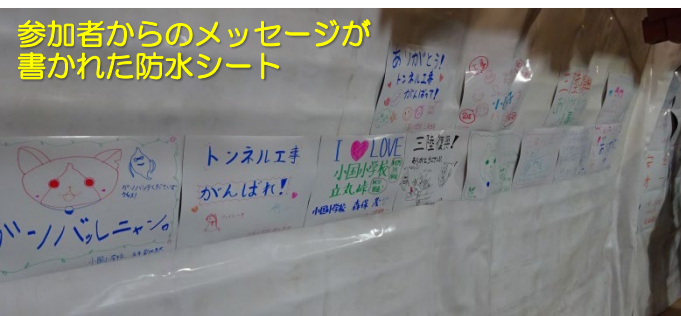
今般、順調に工事が進捗し、安全にトンネル工事現場を見学できる状況になったことから、平成 26 年 12 月 11 日に小峠トンネル築造工事の現場見学会を開催しました。

現場見学会には、宮古市立小国小学校児童や地元住民の皆さんなど約 30 名が参加し、トンネル掘削機械・設備やトンネル掘削工事の最前線の状況を間近で見学していただいたほか、参加者の皆さんにはトンネル内部に設置する防水シートに「復興への想い」や「立丸峠工区開通への想い」などのメッセージを書き、トンネル内部に直接張りつけていただきました。

参加者の皆さんからは、「ありがとう！トンネル工事ががんばって！」、「トンネル完成楽しみにしています」などのトンネル工事に対するエールや、「半世紀の願い 今ここに現る」、「先祖の願い叶う！ありがとう」などの道路整備に対する地元の熱い想いを感じるメッセージをたくさんいただきました。参加者の皆さんに書いていただいたメッセージ入りの防水シートは、トンネル工事が進むとコンクリートに覆われて見えなくなってしまうかもしれませんが、これからもずっとトンネルの中に残り続けます。

また、12 月 25 日のクリスマスには、現場見学会に参加した小国小学校児童の皆さんから感謝を込めた寄せ書きが届きました。現場へのとても嬉しいクリスマスプレゼントとなりました。

県では、この地元の皆さんの「想い」を感じながら、一日も早い完成に向けて、安全に万全を期し、全力で工事を推進していきます。なお、現場見学会の希望がある場合は、宮古土木センター道路整備課道路整備チームまで御連絡ください(TEL:0193-64-2221(内線387))。



参加者からのメッセージが書かれた防水シート



トンネル掘削の最前線でみんなで集合写真



小国小学校児童からのクリスマスプレゼント

2 新田（しんでん）工区の供用を開始

立丸峠工区（5.21km）のうち、宮古市小国の新田工区（0.25km）については、一般国道340号の急カーブ区間を解消するため、平成26年7月から工事着手し、本格的な降雪前の供用開始を目指して工事を進め、平成26年12月19日に供用を開始しました。

今後は、平成28年度の小峠工区の供用開始を目指して（仮称）小峠トンネルの工事を推進するとともに、（仮称）大峠トンネルについても平成26年度中に工事着手する予定としており、平成30年度の全線供用に向けて工事を推進していきます。

新田工区 起点側（遠野側）



新田工区 終点側（宮古側）



【立丸峠工区の事業概要】

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

一般国道340号立丸峠工区は、三陸復興道路整備事業の「復興支援道路」に位置付け、県が重点的に整備を進めています。

一般国道340号立丸峠工区の事業概要

